

5 キャッシュ・フロー計算書について

本市水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	平成29年度	平成28年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	733,498	778,804	△ 45,306
減価償却費	1,364,279	1,335,888	28,391
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 41,766	44,091	△ 85,857
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,873	552	1,321
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 529	△ 689	160
長期前受金戻入額	△ 228,437	△ 216,033	△ 12,404
受取利息及び配当金	△ 1,685	△ 2,570	885
支払利息及び企業債取扱諸費	116,352	127,344	△ 10,992
固定資産除却損	36,885	23,419	13,466
固定資産売却損益(△は益)	△ 1,628	△ 1,576	△ 52
未収金の増減額(△は増加)	△ 17,688	30,554	△ 48,242
その他流動資産の増減額(△は減少)	8	35	△ 27
未払金の増減額(△は減少)	111,942	9,292	102,650
預り金の増減額(△は減少)	6,704	△ 1,610	8,314
小 計	2,079,808	2,127,501	△ 47,693
利息及び配当金の受取額	1,826	3,639	△ 1,813
利息の支払額	△ 116,352	△ 127,344	10,992
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,965,282	2,003,796	△ 38,514
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 1,739,419	△ 2,367,816	628,397
有形固定資産の売却による収入	3,699	3,157	542
国庫補助金等による収入	364,764	471,507	△ 106,743
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,370,956	△ 1,893,152	522,196
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための 企業債による収入	900,000	900,000	0
建設改良費等の財源に充てるための 企業債の償還による支出	△ 641,795	△ 578,235	△ 63,560
他会計貸付金による支出	△ 500,000	0	△ 500,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 241,795	321,765	△ 563,560
資金増加額 (又は減少額)	352,531	432,409	△ 79,878
資金期首残高	3,776,649	3,344,240	432,409
資金期末残高	4,129,180	3,776,649	352,531

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュフロー（CF）で表される。

本年度は、下水道事業会計への長期貸付により、財務活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなった。投資活動及び財務活動に支出する資金を、業務活動による収入で調達している。資金期末残高は前年度に比べて約3億5,253万円増加し、41億2,918万円となった。